

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [生涯学習](#) | [歴史雑学](#) 16. 日本という国名の由来は？
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

歴史雑学 16. 日本という国名の由来は？

日本のことを指す言葉に、古くは「大八州」（おおやしま）、「秋津島」（あきつしま）、「豊葦原瑞穂国」（とよあしはらみずほのくに）、「葦原中国」（あしはらなかつこく）、「大和」（やまと）などがあり、中国では「倭」（わ）と呼んでいました。

それが「日本」と定められたのは、大宝元年（701年）に制定された大宝律令によってです。大宝律令は、日本最古の完成された成文法で、日本という国は、生まれた時から「日本」であったといつてよいでしょう。

大宝律令の頃は「日本」と書いて「やまと」とか「ひのもと」と呼んでいましたが、奈良時代になると漢字の知識が広がり、訓ではなく音読みするようになりました。「にほん」と発音していたようです。これが時代が下がって室町時代になると、東国の発音で読まれるようになり、「にほん」あるいは「にっぽん」となったのです。

現在では「にほん」でも「にっぽん」でもどちらの読み方でもかまいませんが、昭和9年の文部省臨時国語調査会では「にっぽん」に統一され、一時期この読み方が強制されたことがあります。この時、東京の日本橋と『日本書紀』だけは例外に「にほん」と読んだといひます。

英語のジャパンという呼び名は、マルコポーロの『東方見聞録』に載っていた「ジバング」（黄金の島）からきています。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.